

2011

ASHIKAGA HOLDINGS  
ASHIKAGA BANK

DISCLOSURE

# Top Message

## プロフィール

### 足利ホールディングス

- 商号 株式会社足利ホールディングス
- 代表者 代表執行役社長 藤澤 智
- 設立年月日 平成20年4月1日
- 資本金 1,050億1,000万円
- 本社所在地 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号  
(足利銀行本店内)
- 事業内容 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理、およびそれに付帯する業務

### 足利銀行

- 商号 株式会社足利銀行
- 代表者 代表執行役頭取 藤澤 智
- 創業 明治28年10月1日
- 資本金 1,350億円
- 本店 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号
- 職員数 2,714名

※足利銀行は、足利ホールディングスの100%子会社です。

(平成23年3月31日現在)

皆さまには、平素より弊社ならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当期の経済環境は、生産活動の持ち直しや需要面での明るい動きがあったものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響により一転して悪化し、大幅な減産や消費マインズの落ち込みが生じました。

このような環境のもと、弊社グループは、地域における円滑な金融仲介機能の発揮やお客さまのニーズに応じた金融サービスの提供につとめてまいりました。

平成22年度は、「あしぎん成長基盤支援資金」の取扱いや「景気対応緊急保証制度」の活用など、地域の中小企業を中心とした事業性貸出の円滑な資金供給につとめたほか、個人ローンについて、各種キャンペーンを展開したこと等により、貸出金残高（銀行単体）は前年比1,073億円増加の3兆4,732億円となり、要管理先以上の法人融資先数も20,551先に増加いたしました。

預金・預り資産に関しては、資産運用セミナーの開催やキャンペーンの実施、投資信託・個人保険の取扱商品の追加等により、預金等残高（銀行単体）が前年比1,411億円増加の4兆6,466億円となり、個人の預金と預り資産の合計残高も3兆8,306億円に増加いたしました。

また、店舗チャネルにつきまして、宇都宮支店を新築移転し、個人のお客さまの資産運用相談ニーズに幅広くお応えする「あしぎんプラザ宇都宮」としてオープンいたしました。

その他、地域貢献の一環として、足利銀行・野村證券・栃木県・宇都宮大学の産学官金連携による「食と農」企業支援プロジェクトをスタートいたしましたほか、「とちぎ食の展示・商談会2011」を開催いたしました。

地域経済環境は、これまでの厳しい状況に今般の大震災の影響が加わり激変しておりますが、引き続き、中期経営計画に基づき、地域のトップバンクとしての磐石な体制の構築と東京証券取引所への上場を目指し、「お客さまのお取引基盤の拡大」「経営体制の強化」「あしぎんブランドの構築」に取り組んでまいります。また、あわせて、本年7月に予定している基幹系システムの更改についても、万全を期して取り組んでまいります。

東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、地域ならびにお客さまの早期の復興に向け、役職員一同、全力を尽くしてまいりますので、皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

平成23年6月

株式会社足利ホールディングス 代表執行役社長  
株式会社足利銀行 代表執行役頭取



藤澤 智

## 経営方針

### 企業理念

「企業理念」は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

#### ● 存在意義

##### 「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

#### ● 経営姿勢

##### 「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客様本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的に健全な経営をすすめます。

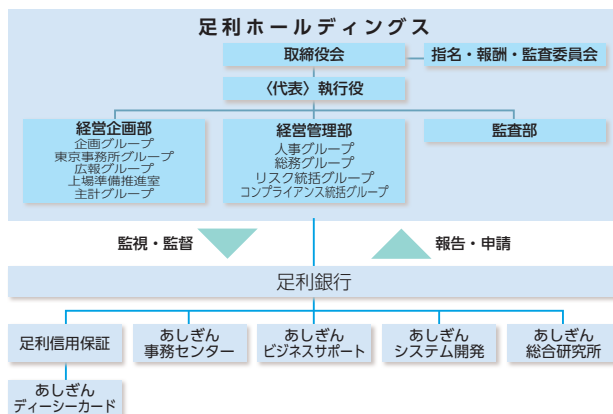
#### ● 行動規準

##### 「誇りと喜びをもって行動する」

わたしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

### 経営体制

企画機能を統括する経営企画部門、管理機能を統括する経営管理部門、内部監査を統括する監査部門を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。



### 中期経営計画

## 新あしぎん創造プロジェクト

地域とともに新たな成長のステージへ

計画期間：平成21年4月～平成25年3月

足利ホールディングスおよび足利銀行は、中期経営計画で示した施策の着実な実行をとおり、お客さま、株主、地域社会、従業員等すべてのステークホルダーからの高い信頼を獲得しつづけ、持続的な企業価値の向上につとめてまいります。

#### 【目指すべき銀行像】

- ◆お客さまに信頼され、頼りにされる銀行
- ◆持続的な地域経済の発展に貢献する銀行
- ◆強靱な経営体質をもった銀行

地域に密着した総合金融  
サービス業の実現を目指す

#### 【中期経営計画の基本的考え方】

栃木県において当行の  
マザーマーケットとしての基盤構築

- ◆地域銀行として関わるあらゆる分野で磐石な基盤を構築
- ◆預金、貸出等のシェアを高め、安定した収益を確保

当行と縁のある外周部を重点地域として  
貸出を主力に取引基盤を回復

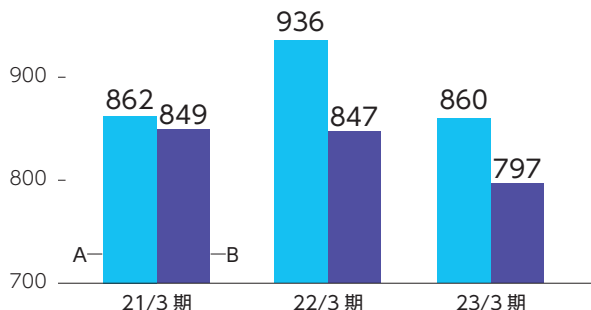
- ◆顧客認知度（一定のシェア・店舗の歴史等）という強みを活かし、人員・店舗ネットワークを増強

## 主要な計数指標（足利銀行単体）

### 業務粗利益

A 業務粗利益 B コア業務粗利益

(億円)  
1,000 -

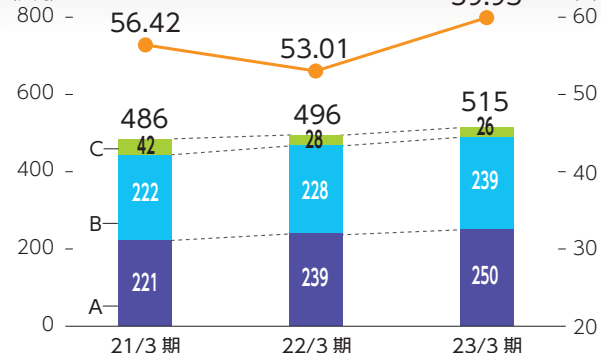


貸出金および保有有価証券の利回り低下による資金利益の減少を主因として、業務粗利益は前期比△75億円の860億円、コア業務粗利益は同比△50億円の797億円となりました。

### 経費・OHR

A 人件費 B 物件費 C 税金 OHR

(億円)

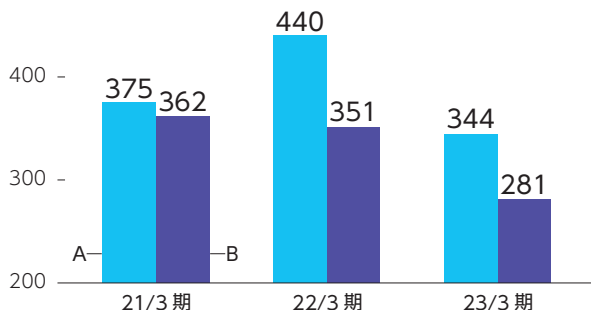


経費は、次期システム移行関連費用が増加したことなどを主因として、前期比+19億円の515億円となり、それに伴い経費率（OHR）も6.92ポイント上昇して59.93%となりました。

### 実質業務純益・ コア業務純益

A 実質業務利益 B コア業務利益

(億円)  
500 -

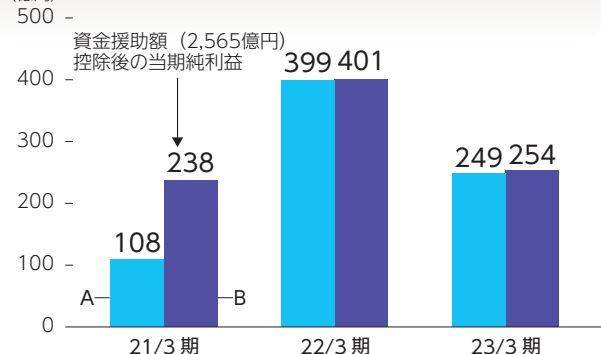


業務粗利益の減少と経費の増加により、実質業務純益は前期比△95億円の344億円となり、国債等債券損益を控除した後のコア業務純益は、同比△69億円の281億円となりました。

### 経常利益・ 当期純利益

A 経常利益 B 当期純利益

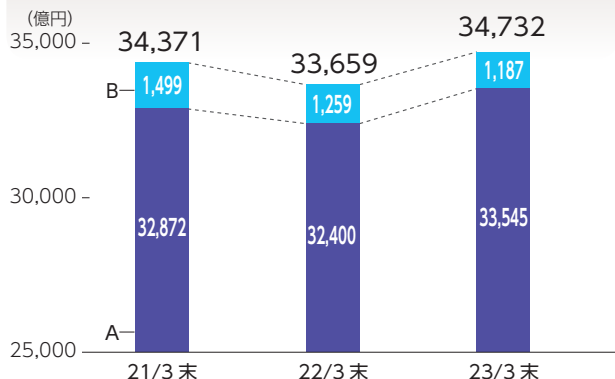
(億円)



経常利益は前期比△150億円の249億円、当期純利益は同比△146億円の254億円となりました。

### 貸出金残高

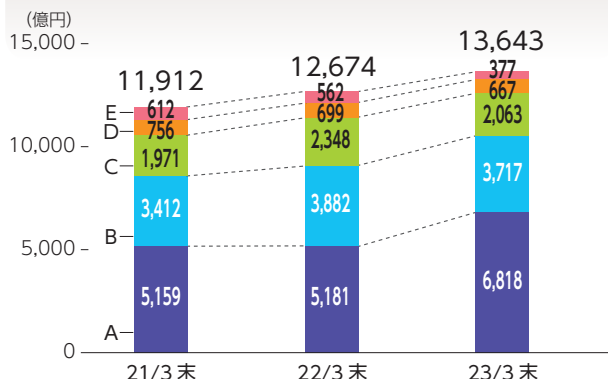
A 正常債権 B リスク管理債権



貸出金残高は、前期末比+1,073億円の3兆4,732億円に増加いたしました。このうち、法人貸出を中心に正常債権が同比+1,145億円の3兆3,545億円となり、大幅に増加いたしました。

### 有価証券残高

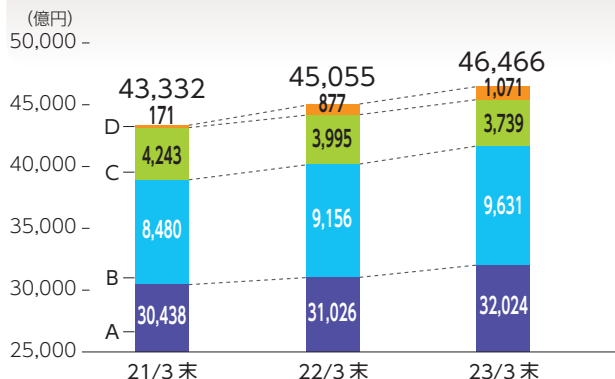
A 国債 B 地方債 C 社債  
D 株式 E その他の証券



有価証券残高は、金利動向を踏まえた売却と国債を中心に残高の積上げを行い、前期末比+969億円の1兆3,643億円となりました。

### 預金等残高

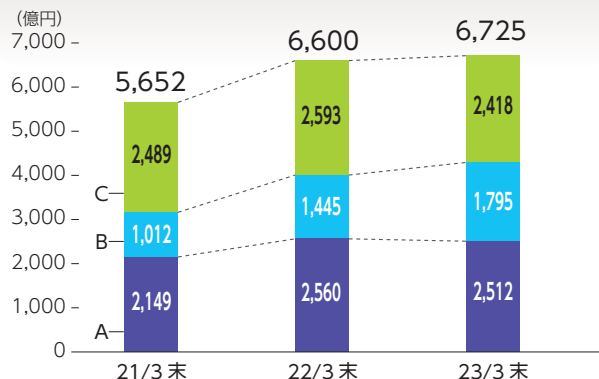
A 個人 B 法人 C 公金 + 金融 D 譲渡性預金



預金等残高は、個人預金と法人預金を中心に堅調に増加し、前期末比+1,411億円の4兆6,466億円となりました。

### 預り資産残高

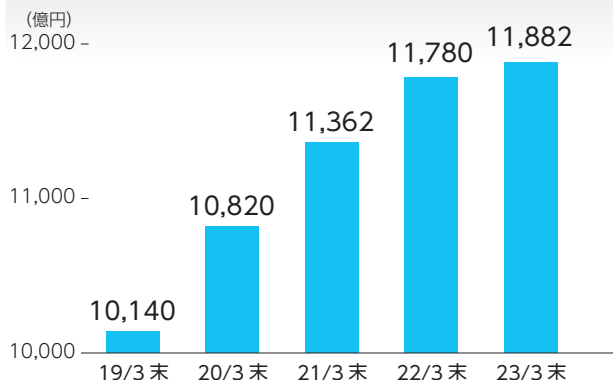
A 投資信託 B 生命保険 C 債券



投資信託残高は、株価低迷等による基準価額の下落により横ばいの状況ですが、保険の販売が増加し、預り資産残高全体では、前期末比+125億円の6,725億円となりました。

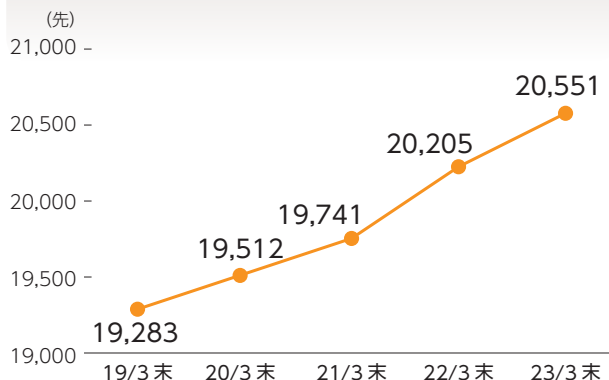
## 主要な計数指標 / 自己資本比率

### 住宅ローン残高



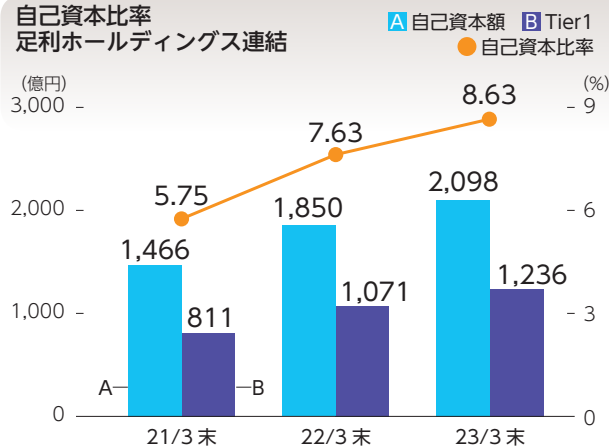
金利上昇せのない8つの疾病保障付住宅ローンの取扱いに加えて、お借換えニーズへの対応も積極的に行い、前期末比+101億円の1兆1,882億円となりました。

### 法人融資先数 (正常先~要管理先)



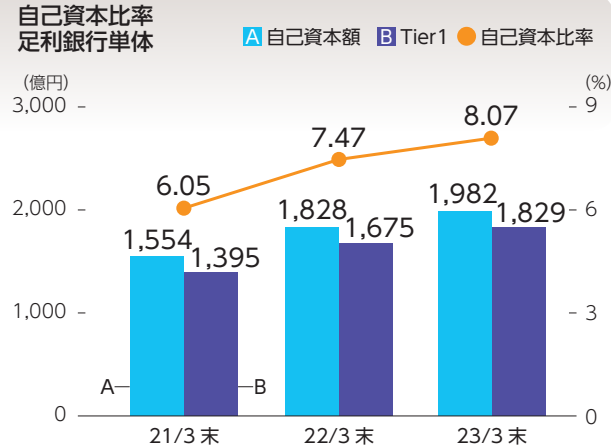
的確な資金ニーズへの対応につとめ、法人融資先数 (要管理先以上) は、前期末比+346先の20,551先となりました。

### 自己資本比率 足利ホールディングス連結



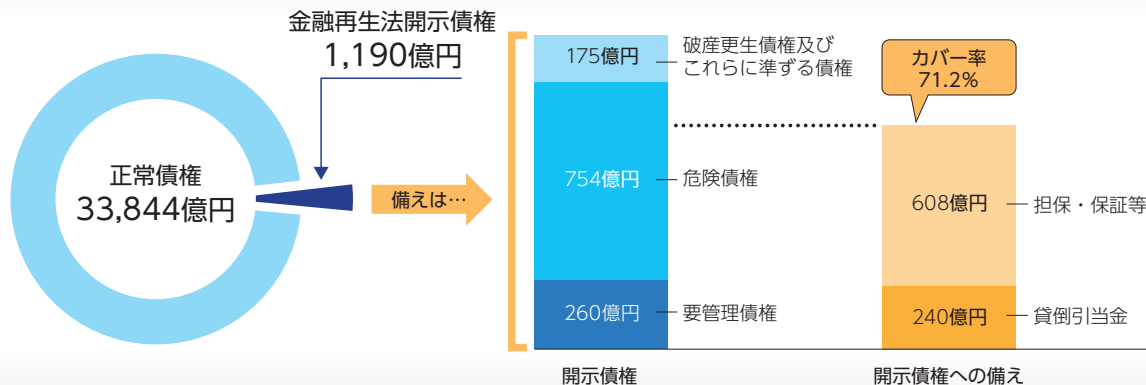
自己資本比率は、当期純利益の着実な積み上げ等により、足利ホールディングス連結8.63% (前期末比+1.00%)、足利銀行単体8.07% (同比+0.60%) にそれぞれ上昇いたしました。

### 自己資本比率 足利銀行単体

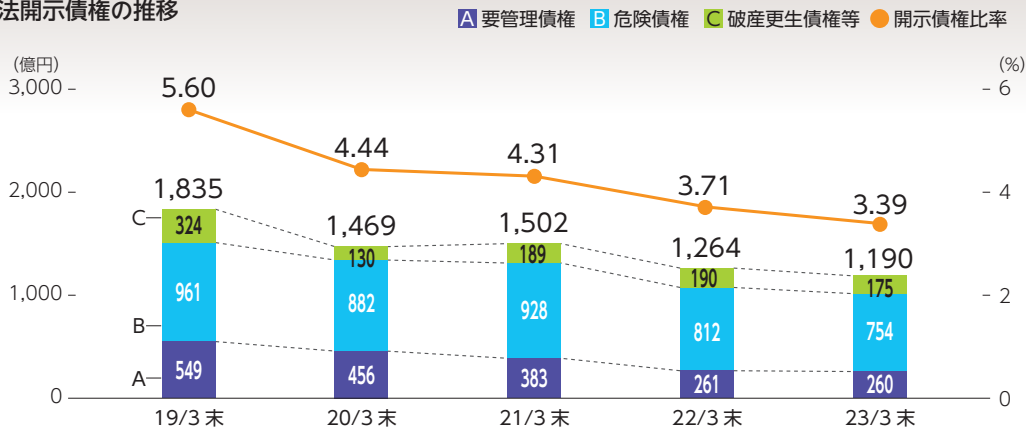


## 金融再生法に基づく開示債権の状況

23年3月末金融再生法開示債権



## 金融再生法開示債権の推移



平成23年3月末は、お取引先の経営改善支援に継続的に取り組んでいるほか、オフバランス化の実施により、平成22年3月末比△74億円の1,190億円となりました。

今後とも、実質破綻先・破綻先債権の原則オフバランス化を進めるとともに、お取引先の経営改善に向けたサポート活動等を通じて、貸出資産の健全化に取り組んでまいります。

資 産 運 用  
相 談 窓 口

### スマイルデスク

お客さまの資産運用等のニーズにお応えするため、金融商品販売店舗に相談ブースを設置し、専門のスタッフが資産づくりのアドバイスをっております。そのブースを「スマイルデスク」、専門のスタッフを「CA（カスタマーアドバイザー）」の愛称で呼んでおります。お客さまを笑顔でお迎えし、資産運用等の幅広い相談に、親切・丁寧に応対するという思いから「スマイルデスク」と名付けました。

### あしぎんプラザ宇都宮の開設

23年1月に、宇都宮支店を新築移転し、資産運用に関するコンサルティング業務を強化した店舗（愛称：「あしぎんプラザ宇都宮」）としてオープンいたしました。

「あしぎんプラザ宇都宮」では、お客さまにゆっくりご相談いただける相談ブースを5か所設置したほか、25名程度収納可能なセミナールームを設けております。あわせて、より多くのお客さまにご来店いただけるよう、平日19時までの営業ならびに休日営業を行っております。



ロ ー ン 専 用  
相 談 窓 口

### ローンセンター

お客さまにいつでも安心して気軽に来店いただき、ゆっくりとご相談いただけるように、22か所のローンセンターを設置しております。ローンセンターでは、住宅ローンをはじめ、マイカーローン、教育ローンなど、お客さまの暮らしのお役に立つ商品を取り扱っており、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明を行い、資金計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

お 客 さま の  
利 便 性 向 上  
へ の 取 組

### インターネットバンキング・モバイルバンキング

パソコンや携帯電話でお取引内容の照会、お振込・お振替、定期預金・投資信託のお取引、税金・各種料金の払込み等を24時間ご利用いただける「インターネットバンキング・モバイルバンキング」サービスを取り扱っております。

### メールオーダーによる普通預金口座開設

お仕事などで平日の日中に銀行窓口にご来店いただけないお客さま向けに、平成22年10月よりメールオーダーによる口座作成の申込み受付を開始いたしました。

### セブン銀行ATM・イーネットATM

セブン銀行ATM・イーネットATMと提携しており、23年3月末現在でセブン銀行ATM14,036か所（内栃木県内374か所）、イーネットATM11,056か所（内栃木県内174か所）で、ご利用いただくことができます。21年2月からより便利にご利用いただくために、平日の日中時間帯（8時45分～18時）のセブン銀行ATM・イーネットATMのご利用手数料を無料化いたしました。





## 法人のお客さまへ

### ソリューション ビジネス

- 営業情報の提供
- 事業継承支援
- M&A業務
- 確定拠出年金業務
- シンジケートローン組成業務
- 社債発行支援 他

お客様の金融ニーズに「積極的かつスピーディ」にお応えするとともに、非金融サービスである営業情報やコンサルティング等のサービスを提供し、お客様の営業活動をサポートしております。

#### 営業情報の提供

行内に「オーガニック（有機的に結合した）情報営業体制」を展開し、お客様の事業にとって有益な営業情報をタイムリーに提供しております。北関東エリアを中心とした営業ネットワークを最大限に活用し、お客様のニーズにお応えするとともに、お客様自身で経営情報の取得や営業情報の発信を行うことができる会員制ビジネスサイト「あしぎんinformationBOX」による情報提供も行っております。



### 海外支援と 国際業務

本部の専門スタッフが貿易や海外直接投資に関するご相談を随時お受けするほか、各種セミナーの開催による海外最新情報の提供や外部専門機関との連携による個別支援等により、地元企業の皆さまの国際化をサポートする体制を整えております。

### EB・インター ネットサービス

インターネット、パソコン、FAX等によりお振込手続き、お取引口座の入出金・残高照会がご利用いただけるサービスです。代金回収やコンビニ収納サービスなど多彩なサービスのラインナップにより、経理事務の合理化・効率化のサポートを行っております。



### あしぎん あしぎん あしぎん あしぎん

各営業店との連携をはかりながら、中小企業や個人事業主のお客さまへニーズに合わせた商品をご案内するとともに、ご融資をはじめとする事業に関するさまざまなご相談を電話やFAXでお受けしております。

## 地域密着型金融の推進

### 平成22年度における地域密着型金融の取組実績

#### 1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

##### ア. 創業・新事業支援

創業・新事業支援に関する融資実行	110件	628百万円
------------------	------	--------

##### イ. 経営改善支援・事業再生

経営改善計画の策定完了	365先
中小企業再生支援協議会の活用	46先
企業再生支援機構の活用	1先
DDS	3先

##### ウ. 事業承継

後継者への自社株式移転等の事業承継に関する相談対応	118件
M&Aに関する相談対応	38件

- ・後継者育成をサポートするセミナーとして「第12回ニューリーダー養成道場」（主催：株式会社あしぎん総合研究所）を開催
- ・「事業承継セミナー」を開催



事業承継セミナー

#### 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

当行がアレンジャー兼エージェントを務めるシンジケートローン	4件	総額703億円
私募債引受	7件	6億円
流動資産担保融資実行	1件	14百万円
動産担保融資	1件	283百万円

#### 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

##### ア. 地域における営業支援情報の提供

###### (ア) 情報営業の展開

- ・行内イントラネットにおける営業情報の受発信を行うシステムの活用
- ・震災復興に向けて必要なニーズ・情報の把握とマッチングを行うこと等によるお取引先の事業活動の早期復興のサポート

###### (イ) ビジネスマッチング機会の提供

- ・22年11月、当行を含む地方銀行32行合同により、「食」の展示商談会である「地方銀行 フードセレクション2010」を開催（当行出展企業17社）。
- ・23年1月、食と農に関するビジネスマッチング支援の取組みとして、「とちぎ食の展示・商談会 2011」を栃木県との共同により開催（出展企業112社）。



フードセレクション

- (ウ) シンクタンク（株式会社あしぎん総合研究所）による情報機能
  - ・ 地域経済の動向や景況調査等の調査結果の公表 26回
  - ・ 「栃木県観光市場に関する調査」の公表
  - ・ 中小企業の課題解決に向けたコンサルティング業務
  - ・ 人材育成のための研修やセミナー、外部講師を招いた実務セミナーの開催
  - ・ 地元情報番組（とちぎテレビ）への出演



とちぎテレビ「イブニング6」

## イ. 産学官の連携に向けた活動

- (ア) 主な産学連携活動
  - 宇都宮大学地域共生研究開発センターのコーディネータに任命された当行行員（現在7名）が、取引先企業における技術開発などのニーズと同大学の研究（シーズ）をつなぐ情報交換を行い、案件を紹介
    - ・ 案件紹介 34件（うち22年度13件）
    - ・ 「宇都宮大学企業交流会」への参加によるビジネスマッチング等の相談対応
- (イ) 「地域振興推進室」の設置
  - ・ 22年10月、公務金融室を公務金融部に昇格し、地方公共団体との取引推進等を所管する公務金融グループと、地方公共団体等と連携した地域振興に関する業務を所管する地域振興推進グループ（呼称：地域振興推進室）を設置
  - ・ 地域振興推進室設置により、栃木県の観光資源や地域産業等の連携・連携に向けたサポートや施策の検討を進め、「地域産業連関のハブ機能発揮」や地域経済活性化支援の取組みを強化

## 中小企業金融円滑化法施行への対応

足利銀行は、21年12月4日の中小企業金融円滑化法の施行にともない、お客さまへの円滑な資金供給を重要な経営課題の一つと位置づけ、金融円滑化に関するお客さまからの各種ご相談に、きめ細かく、かつ、迅速・的確にお応えするよう、積極的に取り組んでおります。

### 〔基本方針（抜粋）〕

「お客さまからのお借入条件の変更等のお申込みに対しては、お客さまのご要望を真摯にお伺いし、できる限り、ご返済負担の軽減に資する措置をとるようつとめてまいります。」

### ◀ご返済条件の変更等に関するご相談窓口▶

【苦情相談窓口】  
 フリーダイヤル 0120-550-760  
 受付時間 平日 9:00～17:00（銀行の休業日を除きます）

---

【ご返済条件の変更等をご希望のお客さまのご連絡先】  
 お取引店の担当者までご連絡ください。

## 金融ADR制度施行への対応

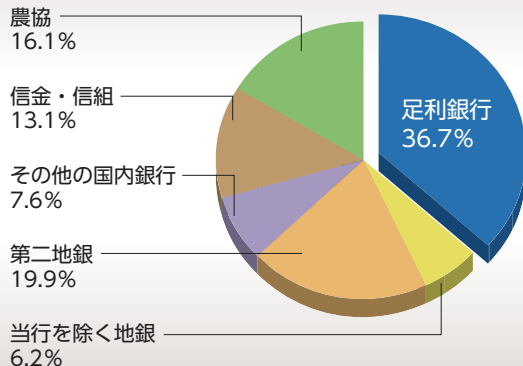
金融ADR制度（Alternative Dispute Resolution）とは、訴訟に代わる、あっせん・調停・仲裁等の当事者の合意に基づく紛争の解決方法であり、事案の性質や当事者の事情等に応じた迅速・簡便・柔軟な紛争解決を行うものです。

足利銀行では、指定紛争解決機関である「一般社団法人全国銀行協会」と手続実施基本契約を締結しており、「全国銀行協会相談室」の存在や役割について、お客さまへの周知につとめるとともに、お客さまのご要望に応じて、当行の「お客さま相談室」、「全国銀行協会相談室」や他の外部機関等を紹介するなど、適切な対応に取り組んでおります。

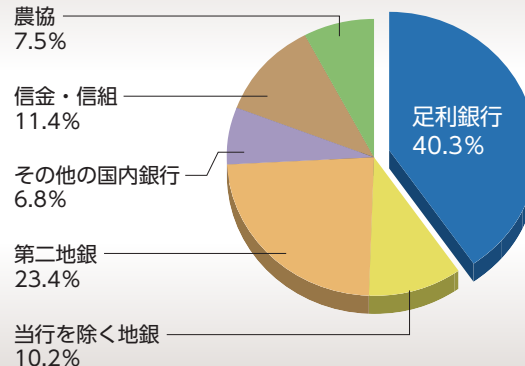
## 地域への取組み

### < 栃木県内シェア >

預金 (22年3月)



貸出金 (22年3月)



※本計数の対象金融機関は、国内銀行、信用金庫、信用組合、農協です。(当行調べ)

#### 貸出金残高、地域向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	21/3期	22/3期	23/3期
貸出金残高	34,371	33,659	34,732
地域向け貸出金残高	30,301	29,673	30,197
地域向け貸出金比率	88.1	88.1	86.9

#### 中小企業等向け貸出金残高・比率、地域の中小企業等向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	21/3期	22/3期	23/3期
中小企業等向け貸出金残高	25,992	25,314	25,718
中小企業等向け貸出金比率	75.6	75.2	74.0
地域の中小企業等向け貸出金残高	24,973	24,427	24,652
地域向け貸出金に対する地域の中小企業等向け貸出金比率	82.4	82.3	81.6

#### 預金残高、地域の預金残高・比率

(億円、%)

	21/3期	22/3期	23/3期
預金残高	43,161	44,177	45,395
地域の預金残高	42,293	43,659	44,907
地域の預金残高比率	97.9	98.8	98.9

#### 預り資産残高、地域の預り資産残高・比率

(億円、%)

	21/3期	22/3期	23/3期
預り資産残高	5,652	6,600	6,725
地域の預り資産残高	5,642	6,590	6,716
地域の預り資産残高比率	99.8	99.8	99.8

※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。

## 地域活性化への取組み

### 東日本大震災からの復興支援

#### ●復興支援プロジェクトチームの立ち上げ

東日本大震災からの復興を支援するため、法人部内に復興支援プロジェクトチームを立ち上げ、地域および取引先の被災状況を把握する取組みを行っております。この取組みによって得られた情報に基づき、取引先の事業活動全般に関するサポートを行っております。

#### ●災害復旧支援融資の取扱い

東日本大震災により被害を受けられた皆さまにお役立ていただくために、住宅新築・改築のための「あしぎん災害復旧住宅ローン」と、事業者さまの資金繰り、設備の修繕・入れ替えなどのための「あしぎん災害復旧支援資金」の取扱いをしております。

#### ●栃木県の被災復興への協力《産業支援・観光支援》

栃木県の被災復興に協力するため、放射線測定装置8台を栃木県に寄贈するほか、観光復興のためのゴールデンウィーク期間中の有料道路無料化事業などに対して、5千万円の支援を決定いたしました。また、3月には栃木県における「東北地方太平洋沖地震の被災者支援義援金（とちまる募金）」に3千万円を寄付いたしました。

### 『食と農』企業支援プロジェクトの取組みスタート

#### ●『『食と農』企業支援プロジェクト推進協議会』の設立

22年10月、足利銀行、栃木県、野村證券の三者で『『食と農』企業支援プロジェクト推進協議会』を設立。『食と農』に関する地元関連企業6社を支援企業として選定し、宇都宮大学を含めた「産学官金」連携により、四者のネットワークや支援ノウハウ、知的財産を結集し、支援企業の事業拡大や成長を全面的にサポートしてまいります。



#### ●『食と農』ビジネスセミナーの開催

23年2月、「アグリビジネスの今後の展望」と「農産物等製品の海外販路開拓」をテーマに『食と農』ビジネスセミナーを開催し、約170名のお客さまにご来場いただきました。



## CSR（企業の社会的責任）への取り組み

### 環境問題（CO<sub>2</sub>削減）への取り組み

#### 日光杉並木保護

世界に誇る日光杉並木を守るため栃木県が行っている「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、平成8年よりオーナーとなっております。



オーナー杉

その後の継続的な購入により、一団体としては最多の63本（1本1,000万円）の杉を保有しております。

22年11月、新たに購入した5本の杉に対し、栃木県知事より、藤澤頭取にオーナー証書が授与されました。



証書交付式

#### 足尾の山への植樹活動

22年7月、NPO法人「足尾に緑を育てる会」の協力のもと、新入行員133名が足尾の山に約280本の苗木の植樹を行いました。



足尾の山植樹

### 教育・福祉・産業・文化

#### 金融教育への取り組み

##### 大学への講座提供

22年4月より、宇都宮大学において「一地方銀行の歴史に学ぶ金融論」という単位数2単位の講座を提供しております。



講座風景

##### キッズスクール

22年8月の夏休み中に、「あしぎんキッズスクール『お金の体験学習』」を本店にて開催し、24組58名の親子に参加していただきました。



キッズスクール

##### 校外体験学習の受け入れ

地元の小学校から大学生までの職場体験や校外体験学習の受け入れを幅広く実施しております。22年度は17校より約260名の児童・生徒が職場見学を行ったほか、大学生・短大生16名がインターンシップに参加しました。

#### バリアフリーへの取り組み

##### 認知症サポーターの全店配置

認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会に貢献するため、「認知症サポーター養成講座」を行内研修等のカリキュラムに取り入れております。全営業店に認知症サポーターを配置したほか、23年3月末の認知症サポーター数は633名になりました。

#### 栃木県産業協議会

昭和56年、栃木県内の有力企業経営者の経済団体として設立され、定期の勉強会を通じて情報交換や異業種交流、後継者育成などを行っております。当行は事務局の役割を果たすなど、積極的に支援しております。



会員総会

## 電気自動車用急速充電スタンドの設置

23年3月、本店駐車場に電気自動車用の急速充電器を設置いたしました。来店されるお客さまや広く地域の方々に無料で開放し、電気自動車の普及促進を支援しております。また、当行においても電気自動車1台を導入いたしました。



急速充電器

## クールビズの早期実施

例年6月から9月末に実施しておりますクールビズを、節電対策の一環として、5月～10月末まで期間を拡大して実施しております。

実施期間中は、原則として、男性職員はノーネクタイで、女性制服用者はスカーフやリボンを取り外した軽装で執務を行います。



認知症サポーター養成講座

## 障がいをお持ちのお客さまへの対応

23年1月、障がいをお持ちでATMのご利用が困難なお客さまを対象に、窓口受付の振込手数料を引き下げ、ATM利用の振込手数料と同額にいたしました。

今後、目の不自由な方に対応した音声案内ハンドセット（受話器）付ATMの増設を進めてまいります。

## 財団法人あしぎん国際交流財団

当行が昭和60年に設立したあしぎん国際交流財団では、栃木県を中心とする地域に学ぶ海外からの私費留学生や地域の国際交流団体への助成を行っております。22年度まで助成実績は延べ284先の1億844万円となりました。



助成先と財団役員

YOU-I 運動とは、平成2年にスタートした職員の自主的なボランティア活動です。22年度の活動実績は、全店で588件になりました。

## 地域イベントへの参加



陶器市（益子町）



日光輪王寺強飯式



ゆけむりマラソン（塩原町）



フェスタ my 宇都宮

## 地域清掃



店周清掃



宮まつり清掃

## 募金活動



震災義援金

## リサイクル収集



プルタブ使用済切手

## 連結財務諸表（足利ホールディングス）

### 連結貸借対照表（平成23年3月31日現在）

（単位：百万円）

科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	119,674
コールローン及び買入手形	130,385
買入金銭債権	7,848
商品有価証券	3,536
有価証券	1,335,264
貸出金	3,474,628
外国為替	6,223
その他資産	26,456
有形固定資産	26,208
無形固定資産	112,902
繰延税金資産	10,403
支払承諾見返	20,247
貸倒引当金	△ 55,097
<b>資産の部合計</b>	<b>5,218,682</b>
<b>負債の部</b>	
預金	4,481,517
譲渡性預金	107,119
債券貸借取引受入担保金	19,700
借入金	289,236
外国為替	463
その他負債	43,080
役員賞与引当金	70
退職給付引当金	15,610
役員退職慰労引当金	174
睡眠預金払戻損失引当金	1,350
偶発損失引当金	286
ポイント引当金	65
災害損失引当金	518
支払承諾	20,247
<b>負債の部合計</b>	<b>4,979,438</b>
<b>純資産の部</b>	
資本金	105,010
資本剰余金	95,780
利益剰余金	35,494
株主資本合計	236,285
その他有価証券評価差額金	2,958
その他の包括利益累計額合計	2,958
<b>純資産の部合計</b>	<b>239,243</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,218,682</b>

#### 資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など、主に資金の運用状況を表します。

#### 負債の部

お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表します。

#### 純資産の部

株主の皆さまからのご出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額です。

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>104,644</b>
資金運用収益	78,160
（うち貸出金利息）	(66,089)
（うち有価証券利息配当金）	(11,571)
役員取引等収益	16,812
その他業務収益	7,338
その他経常収益	2,333
<b>経常費用</b>	<b>88,879</b>
資金調達費用	8,521
（うち預金利息）	(4,733)
役員取引等費用	5,563
その他業務費用	116
営業経費	59,829
その他経常費用	14,848
<b>経常利益</b>	<b>15,765</b>
<b>特別利益</b>	<b>888</b>
固定資産処分益	200
償却債権取立益	687
<b>特別損失</b>	<b>1,317</b>
固定資産処分損	234
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	378
災害損失引当金繰入額	518
固定資産圧縮損	186
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>15,336</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>649</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>△ 1,298</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>△ 648</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>15,985</b>
<b>当期純利益</b>	<b>15,985</b>

#### 経常収益、経常費用

「経常収益」は、貸出金利息や各種手数料等の収益で、「経常費用」は預金利息や営業経費等の費用を表します。

#### 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益のことです。

#### 当期純利益

経常利益から税金等を差し引いた最終的な利益のことです。



## 連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>株主資本</b>	
資本金	
前期末残高	105,010
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	105,010
資本剰余金	
前期末残高	95,780
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	95,780
利益剰余金	
前期末残高	25,179
当期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
当期純利益	15,985
当期変動額合計	10,315
当期末残高	35,494
<b>株主資本合計</b>	
前期末残高	225,970
当期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
当期純利益	15,985
当期変動額合計	10,315
当期末残高	236,285
<b>その他の包括利益累計額</b>	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	8,774
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△ 5,815
当期変動額合計	△ 5,815
当期末残高	2,958
<b>繰延ヘッジ損益</b>	
前期末残高	△ 7
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	7
当期変動額合計	7
当期末残高	—
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	
前期末残高	8,766
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△ 5,808
当期変動額合計	△ 5,808
当期末残高	2,958
<b>純資産合計</b>	
前期末残高	234,737
当期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
当期純利益	15,985
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△ 5,808
当期変動額合計	△ 4,506
当期末残高	239,243

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	15,336
減価償却費	3,770
のれん償却額	6,202
貸倒引当金の増減 (△)	△ 15,703
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	235
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	32
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	114
偶発損失引当金の増減額 (△)	121
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	13
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	518
資金運用収益	△ 78,160
資金調達費用	8,521
有価証券関係損益 (△)	△ 3,044
金銭の信託の運用損益 (△は運用益)	△ 0
為替差損益 (△は益)	△ 2
固定資産処分損益 (△は益)	33
固定資産圧縮損	186
貸出金の純増 (△) 減	△ 106,973
預金の純増減 (△)	117,580
譲渡性預金の純増減 (△)	19,383
借入金 (劣後特約借入金を除く) の純増減 (△)	73,870
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	△ 4,279
コールローン等の純増 (△) 減	17,609
商品有価証券の純増 (△) 減	829
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	9,384
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△ 1,745
外国為替 (負債) の純増減 (△)	27
資金運用による収入	76,091
資金調達による支出	△ 6,601
その他	3,163
小計	136,537
法人税等の支払額	△ 501
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,036
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△ 1,701,732
有価証券の売却による収入	276,325
有価証券の償還による収入	1,322,168
金銭の信託の減少による収入	84
有形固定資産の取得による支出	△ 2,721
有形固定資産の売却による収入	191
無形固定資産の取得による支出	△ 2,636
その他	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 108,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△ 5,670
リース債務の返済による支出	△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,678
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,022
現金及び現金同等物の期首残高	88,367
現金及び現金同等物の期末残高	110,390

## 連結財務諸表（足利銀行）

### 連結貸借対照表（平成23年3月31日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	119,674	預金	4,490,672
コールローン及び買入手形	130,385	譲渡性預金	107,119
買入金銭債権	7,848	債券貸借取引受入担保金	19,700
商品有価証券	3,536	借入金	209,236
有価証券	1,335,365	外国為替	463
貸出金	3,474,628	その他負債	42,203
外国為替	6,223	役員賞与引当金	42
その他資産	24,043	退職給付引当金	15,610
有形固定資産	26,615	役員退職慰労引当金	114
無形固定資産	5,910	睡眠預金払戻損失引当金	1,350
繰延税金資産	11,417	偶発損失引当金	286
支払承諾見返	20,247	ポイント引当金	65
貸倒引当金	△ 55,097	災害損失引当金	518
		支払承諾	20,247
		<b>負債の部合計</b>	<b>4,907,629</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	60,317
		株主資本合計	195,317
		その他有価証券評価差額金	7,851
		その他の包括利益累計額合計	7,851
		<b>純資産の部合計</b>	<b>203,169</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>5,110,798</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,110,798</b>

### 連結損益計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>104,606</b>
資金運用収益	77,738
（うち貸出金利息）	(66,089)
（うち有価証券利息配当金）	(11,149)
役員取引等収益	16,842
その他業務収益	7,310
その他経常収益	2,715
<b>経常費用</b>	<b>78,186</b>
資金調達費用	5,157
（うち預金利息）	(4,735)
役員取引等費用	5,563
その他業務費用	116
営業経費	53,744
その他経常費用	13,604
<b>経常利益</b>	<b>26,420</b>
特別利益	1,021
特別損失	1,259
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>26,182</b>
法人税、住民税及び事業税	645
法人税等調整額	△ 1,031
法人税等合計	△ 385
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>26,568</b>
<b>当期純利益</b>	<b>26,568</b>

### 連結株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>株主資本合計</b>		<b>繰延ヘッジ損益</b>		<b>純資産合計</b>	
資本金		前期末残高	180,813	前期末残高	△ 7	前期末残高	195,298
前期末残高	135,000	当期変動額		当期変動額		当期変動額	
当期変動額		剰余金の配当	△ 12,064	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7	剰余金の配当	△ 12,064
当期変動額合計	—	当期純利益	26,568	当期変動額合計	7	当期純利益	26,568
当期末残高	135,000	当期変動額合計	14,504	当期末残高	—	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,633
利益剰余金		当期末残高	195,317	その他の包括利益累計額合計			
前期末残高	45,813	<b>その他の包括利益累計額</b>		前期末残高	14,485		
当期変動額		その他有価証券評価差額金		当期変動額			
剰余金の配当	△ 12,064	前期末残高	14,492	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,633		
当期純利益	26,568	当期変動額		当期変動額合計	△ 6,633		
当期変動額合計	14,504	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,641	当期末残高	7,851	<b>当期変動額合計</b>	<b>7,870</b>
当期末残高	60,317	当期変動額合計	△ 6,641	当期末残高	7,851	当期末残高	203,169
		当期末残高	7,851				

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体財務諸表（足利銀行）

### 貸借対照表（平成23年3月31日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	119,673	預金	4,539,546
コールローン	130,385	譲渡性預金	107,119
買入金銭債権	7,848	債券貸借取引受入担保金	19,700
商品有価証券	3,536	借入金	209,236
有価証券	1,364,344	外国為替	463
貸出金	3,473,289	その他負債	27,169
外国為替	6,223	役員賞与引当金	42
その他資産	21,805	退職給付引当金	14,885
有形固定資産	27,427	役員退職慰労引当金	114
無形固定資産	5,903	睡眠預金払戻損失引当金	1,350
繰延税金資産	11,066	偶発損失引当金	286
支払承認見返	20,247	ポイント引当金	23
貸倒引当金	△ 50,217	災害損失引当金	518
		支払承諾	20,247
		<b>負債の部合計</b>	<b>4,940,703</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	57,990
		利益準備金	4,423
		その他利益剰余金	53,567
		繰越利益剰余金	53,567
		株主資本合計	192,990
		その他有価証券評価差額金	7,837
		評価・換算差額等合計	7,837
		<b>純資産の部合計</b>	<b>200,828</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>5,141,531</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,141,531</b>

### 損益計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>99,586</b>
資金運用収益	74,394
（うち貸出金利息）	(62,760)
（うち有価証券利息配当金）	(11,144)
役員取引等収益	15,425
その他業務収益	7,066
その他経常収益	2,699
<b>経常費用</b>	<b>74,647</b>
資金調達費用	5,163
（うち預金利息）	(4,749)
役員取引等費用	5,620
その他業務費用	22
営業経費	52,373
その他経常費用	11,467
<b>経常利益</b>	<b>24,938</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,065</b>
<b>特別損失</b>	<b>1,259</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>24,743</b>
法人税、住民税及び事業税	84
法人税等調整額	△ 781
法人税等合計	△ 697
<b>当期純利益</b>	<b>25,441</b>

### 株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>利益剰余金合計</b>		<b>評価・換算差額等</b>		<b>評価・換算差額等合計</b>	
資本金		前期末残高	44,614	その他有価証券評価差額金		前期末残高	14,448
前期末残高	135,000	当期変動額		前期末残高	14,455	当期変動額	
当期変動額	—	剰余金の配当	△ 12,064	当期変動額		株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,610
当期変動額合計	—	当期純利益	25,441	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,617	当期変動額合計	△ 6,610
当期末残高	135,000	当期変動額合計	13,376	当期変動額合計	△ 6,617	当期末残高	7,837
<b>利益剰余金</b>		<b>当期末残高</b>	<b>57,990</b>	<b>当期末残高</b>	<b>7,837</b>	<b>純資産合計</b>	
利益準備金		<b>株主資本合計</b>		<b>繰延ヘッジ損益</b>		前期末残高	194,062
前期末残高	2,010	前期末残高	179,614	前期末残高	△ 7	当期変動額	
当期変動額		当期変動額		当期変動額		剰余金の配当	△ 12,064
剰余金の配当	2,412	剰余金の配当	△ 12,064	当期純利益	25,441	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 6,610
当期変動額合計	2,412	当期純利益	25,441	当期変動額合計	7	当期変動額合計	6,765
当期末残高	4,423	当期変動額合計	13,376	当期変動額合計	7	当期末残高	200,828
<b>その他利益剰余金</b>		<b>当期末残高</b>	<b>192,990</b>	<b>当期末残高</b>	<b>—</b>		
繰越利益剰余金		前期末残高	42,603				
前期末残高	42,603	当期変動額					
当期変動額		剰余金の配当	△ 14,477				
剰余金の配当	△ 14,477	当期純利益	25,441				
当期純利益	25,441	当期変動額合計	10,963				
当期変動額合計	10,963	当期変動額合計	53,567				
当期末残高	53,567						

# 営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (23年3月末現在)			
	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	107店 (うち出張所41)	150	15
群馬県	14店 ( )	9	5
茨城県	8店 ( )	2	1
埼玉県	16店 ( )	1	1
東京都	1店 ( )	-	-
福島県	1店 ( )	1	-
合計	147店 ( )	163	22

※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM)  
 全国25,092か所 (23年3月末現在)

(出) ……出張所  
 (リ) ……リテールセンター  
 (プ) ……あしぎんプラザ  
 (ロ) ……ローンセンター



発行/平成23年6月  
**足利ホールディングス経営企画部**  
 〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-8411 (代表)  
<http://www.ashikaga-hd.co.jp>

**足利銀行広報室**  
 〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-0111 (代表)  
<http://www.ashikagabank.co.jp>



足利銀行はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。